

②帯広地区かわまちづくり事業

受賞機関 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 帯広河川事務所

キーワード 親水施設、帯広市総合体育館、イベント

全建賞審査委員会の評価ポイント

帯広市新総合体育館の改築に伴い、帯広市と国が連携し、十勝川河川敷へのアクセス向上のための親水施設を整備。帯広市・PFI事業者・商工会議所・町内会・体育連盟・河川協力団体・北海道開発局帯広開発建設部など、多様な主体と連携し、民間の活力を活かして地域ニーズを反映した整備を進めた点が評価された。

1. はじめに

「帯広市かわまちづくり事業」は、帯広市・PFI事業者（指定管理者）・帯広市商工会議所・河川敷沿川の町内会・体育連盟・河川協力団体・北海道開発局帯広開発建設部などで構成する「帯広市かわまちづくり協議会」によって進められている。この協議会は、地域の意向を踏まえ、河川空間とまち空間が融合し、にぎわいのあるまちづくりを目指し、地域活性化に資する良好な空間形成を目的とした「かわまちづくり計画」を平成30年3月に登録した。

2. 事業の概要

本事業は、帯広市総合体育館の改築を契機として、帯広市と国が連携し、帯広市総合体育館から十勝川河川敷へのアクセスを向上させるための親水施設を整備したものである。具体的には、老朽化していた高水護岸の再整備や堤防天端から高水敷の多目的広場へアクセスできる管理用通路等を整備している。



帯広地区かわまちづくり事業

3. 事業の成果

帯広市総合体育館から十勝川河川敷へのアクセスが向上したことにより、地域住民や観光客の利便性が高まっている。また、整備箇所の河川敷周辺では、地域活性化を目的としたイベントが開催され、新たな河川空間の

にぎわいの創出を実現している。さらに、近年では地元サイクリストを中心に、河川堤防等を活用したサイクルツーリズムも展開されている。



地域活性化イベント（アウトドアメッカ十勝）

また、令和元年に本事業の周辺が「都市・地域再生等利用区域」に指定され、民間事業者等による河川敷の営利活動が可能となっている。全国規模のスポーツ大会及び練習場としての利用等、河川空間のオープン化により、更なる利活用の促進が期待されている。



河川空間オープン化（サイクルウィーク）

4. おわりに

河川敷周辺では、全国規模の花火大会、イカダ下りや様々なスポーツ大会など、季節ごとに多くのイベントが開催されており、多くの観光客が訪れている。このような恵まれた立地環境を活かし、事業を通じて誰もが利用しやすく、にぎわいのある河川空間の創出を目指している。この空間を活用して、さらに地域の活性化を進めるとともに、今後も地域住民や観光客の利便性を高め、引き続き地域の観光振興を促進していく。